

まちの話題

祝100歳!これからもお元気で



9月14日、今年100歳を迎える方々の代表として、グループホームめぐみ苑に入所されている久間アサカさんに、内閣総理大臣、県知事、市長からの祝状と記念品が贈られました。

久間さんは、花にとても興味があり、還暦(60歳)のときにはなんと世界一周旅行をされたそうです。今は食べることが楽しみだそうで、とてもお元気にされています。

この日は、めぐみ苑の職員たちが手作りした花飾りと、お祝いに駆けつけたご家族や入所者たちに囲まれて、平安市長からお祝いの言葉をかけられるととても嬉しそうにされました。

小郡市では、今年15の方方が100歳を迎え、100歳以上の方々は35人になります(平成24年9月1日現在)。

平和への思いを子どもたちへ



県立明善高校を1975年に卒業したOB、OGでつくる同窓会「明善50会」より、市内小中学校13校へ小郡市出身の帚木蓬生さんの著書「ソルハ」(第60回小学館児童出版文化賞受賞作品)が寄贈されました。

「ソルハ」は、ダリ語で平和を意味する言葉で、戦禍のアフガニスタンで暮らす主人公の少女が、いつかは平和な日がやってくることを信じ、希望を失わず、前向きに生きていくことで成長していく様を描いた物語です。

「明善50会」会長の堀川貴子さん(写真左)は、「帚木さんが著書に込めた平和や命の尊さ、夢や希望をあきらめずに生きることの大切さを子どもたちにもっと知ってほしい」と話されました。

キックボクシング 最優秀選手賞受賞



9月3日、松本就くん(三国中3年)が、8月26日に大野城市で開催されたリアルディール29アマチュア大会でKO勝利し、最優秀選手賞を受賞したことを平安市長に報告しました。現在全国ランキング8位の松本くんは、3歳から空手を始め今年で12年になるそうで、月曜～土曜まで新格闘術 吉田道場で練習に励んでいます。(金・土は三国中学校体育館で練習)

「これまで続けてこられたのは、師範や先生方のおかげです」と話す松本くんの将来の夢は、空手を活かし警察官になることだそうです。平安市長は「受賞おめでとう。空手はスタミナ勝負だからきついだろうけど、頑張って、ぜひ続けてください」と激励しました。

初期消火活動に対し感謝状贈呈



9月5日、三井消防署は、火災の早期発見・通報・初期消火活動により、火災の拡大を防ぎ、被害を最小限にとどめたことに対し、肥山忠行さん(上西)に感謝状を手渡しました。

これは、7月27日午後7時20分ごろ、自店舗内で接客中だった肥山さんが無人の木工所から煙が上がっていることに気づき、119番通報するとともに来店中の客や付近住民と協力して消火したことを表彰したものです。

表彰後、肥山さんは「大火災にならないように、無我夢中でした。今後も地域の皆さんと協力していきたい」と話されました。